令和７年度学校評価自己評価表　　学校名：廿日市市立金剛寺小学校

学校教育目標	夢をもち、自らチャレンジする金剛寺っ子の育成	〔ミッション・ビジョン〕	「子どもの夢を育む」学校 ～児童・教職員・保護者・地域の協働～

経営目標に向かうストーリー	「夢をもち、自らチャレンジする金剛寺っ子の育成」ために、「互いに学び合い認め合い高め合うチーム金剛寺」というキャッチフレーズのもと、学校経営を行っていく。未来を担う子どもたちに、今、必要とする力を育むため、個別最適な学びを提供する。そのために、まず職員が個別最適な働き方をチームとして行う習慣をつける。それを通して、緩やかな協働と新しい価値を生み出す充実感を私たちが味わいながら、児童にも対話を通して児童主体の活動を活性化させていく。

評価計画				現状値	目標値	中間	最終	達成度	評価
中期経営目標	短期経営目標【◎重点項目】	目標達成のための方策	評価指標						
①主体的に学びを進める児童の育成	◎学び続けようとする態度の育成	・学習計画つくりと家庭学習の充実	・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている」全国学力・学習状況調査児童質問紙評価　【市共通項目】	96％	98％				
	◎自律し、協働的な学習を進める力の育成	・協働的な学びの場の工夫と充実	・「理由をつけて自分の考えを説明することができている」児童評価【校区共通項目】	95％	97％				
	・本質的な問いの追求	・単元構想シートの効果的な活用	・各教科の見方・考え方を実感できる学びが作れている」職員評価・児童評価	96％	98％				
②児童の自治的能力の向上	◎課題に気付き解決しようと行動する態度の育成	・課題解決を目指した児童会活動の計画的な実施	・「係・当番活動や委員会活動等でみんなの生活をよりよくするために考えて行動している」児童評価	96％	98％				
		・自分の成長を実感させる定期的な振り返り	・「自分の良さや自分らしさが認められている」児童評価【校区共通項目】	93％	95％				
	・規範意識の醸成	・ＩＣＴ活用・生活のきまりの共有と再考	・「１年を通じて、情報モラルやリテラシーを身に付ける為の取組を計画的に行っている。」職員評価	100％	100％				
③働き方改革の推進	・教職員のやりがい、充実感の向上	・風通しの良い職場づくり	・「自己の役割を理解し、風通しの良い職場づくりの１役を担っていることを自覚している」職員評価	87％	90％				
		・自己の働き方の見直し	・「自己のタイムマネジメント力は向上している」職員評価	100％	100％				

結果と課題の分析・改善方法等（中間）		

結果と課題の分析・改善方法等（最終）		

学校関係者評価を受けての次年度の方針・方策		